第 2660 地区大阪大手前ロータリークラブ

OSAKA-OTEMAE

Rotary Club Weekly Bulletin

創立 1983 年(昭和 58 年)3 月 18 日　**例会** 毎週金曜日　12 時 30 分　**例会場** 帝国ホテル大阪

会長 金高　好伸　　**幹事** 大本　達也　　**会報担当委員長** 多田　秀觀

事務局 〒530-0042　大阪市北区天満橋 1-8-50　帝国ホテル大阪 806 号室

TEL:06-6357-8917　　FAX:06-6357-8907

E-mail：info@otemae-rotary.com　　URL　http://www.otemae-rotary.com

〈四つのテスト〉1. 真実かどうか　2. みんなに公平か　3. 好意と友情を深めるか　4. みんなのためになるかどうか

2014 年 11 月 7 日　第 1518 回例会

ロータリー財団月間

◎本日のプログラム

・ソング　♪「君が代」「奉仕の理想」♪
・お祝いと表彰
・ロータリー財団委員会担当卓話
「ロータリー財団について」
佐々木　宏委員長
・ピアノ　ランゲ「のばら」

◎次週(11 月 14 日)のお知らせ

・ソング　♪「故郷」♪
・卓話
「献血の現状について」
大阪赤十字血液センター　献血推進一部
推進課長　安原　武志氏
(上野　勝巳会員紹介)
・ピアノ　レイバッハ「ノクターン」

先週の例会報告

― 会長挨拶 ―

今週水曜日開催のマルユッカさんの歓迎会に出席された会員、家族の皆さん、ご苦労様でした。総勢 24 名が出席して盛大な歓迎会となりました。マルユッカさんは、来日してからの約 2 か月間、充実した高校生活を過ごしておられるようです。残り 10 か月の留学生活が実りあるものとなりますように皆様のご協力宜しくお願い致します。

また、本日代理卓話をお願いしております広瀬さんと工藤さん、雷対策のお話をしていただくそうですが、よろしくお願い致します。

さて、私は、今週火曜日、大阪弁護士会の研修として「法と正義」のテーマで東大教授の講義を受けました。少々疲れましたが 3 時間の充実した講義を受けて久しぶりに「法とは何か」、「法と正義との関係」ということについて改めて考えさせられ、学生時代に戻ったような新鮮な気持ちになりました。

弁護士会では年間 10 講座の研修受講が義務付けられております。今回の講義にも若い弁護士に交じり 70 代、80 代の先輩弁護士達がたくさん参加されていましたが、弁護士業務を継続し、職業を通じて社会に奉仕するためには、幾つになっても次々と改正される法律や制度、また、法とは何かという点について、常に学んでおく必要があります。

ロータリーの職業奉仕がそうであるように、すべての職業に従事する者が、職業人として社会に奉仕するためには、日々の研鑽が大事であると思います。

― 幹事報告 ―

1. 配布物 理事メンバーにガバナー月信
2. 本日臨時理事会を例会前に開催しました。内容は次週の週報をご覧下さい。
3. 来年 5 月 5 日こどもの日に 2660 地区によるロータリーフェスティバルを開催することとなり我がクラブの RF 担当に長谷会員が選任されました。今後の RF に関する告知は長谷会員からして頂きます。

― 出席報告 ―

国内ビジター	0名	会　員　数	36名
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	6名
国内ゲスト	2名	会 員 出 席	24名
外国ゲスト	0名	会 員 欠 席	6 名

〈10 月 31 日の出席率　82.35%〉

Make up を含む 10/10 の出席率 80.00%

11 月 14 日の例会場
帝国ホテル大阪 4 階「牡丹の間」

― 委員会報告 ―

・社会奉仕委員会

委員長　岡田　耕平

12 月 13 日(土)、大手前整肢学園のクリスマス会でバザーを実施する事になりました。バザーの売上金で、子供達へのクリスマスプレゼントと子供達が望んでいる物品を寄贈する事にしています。

つきましてはバザーで販売する商品の募集を開始します。会社やご家庭にあるお中元やお歳暮、贈答品の残り物、何でも結構ですので、お一人様一品以上のご協力をお願い致します。但し、食品(飲料含む)は賞味期限切れにご注意いただくとともに、中古品はご遠慮いただきますようお願い致します。

大手前整肢体学園の園児達の幸せと喜びに繋がる奉仕事業であり、この事業の源泉はバザーによる売上金です。皆様には主旨をご理解いただき、より多くの温かいお気持ちをお寄せいただきますよう、何卒、ご協力の程、宜しくお願いいたします。尚、クリスマス会の時間、商品の送り先については後日、あらためてご連絡致します。

― 同好会報告 ―

・ゴルフ同好会

松浦　貞男

～第 2 回ゴルフコンペのご案内～

第 2 回ゴルフ同好会のコンペを 12 月 2 日に開催いたします。会費も 5,000 円と格安で行いますので皆さんの奮ってのご参加をお待ちしております。

― 大阪鶴見 RC30 周年記念式典報告 ―

幹事　大本　達也

11 月 1 日太閤園で式典・例会が開催され、我が大手前 RC から金髙会長と私大本が出席させて頂きました。30 周年に合わせ鶴見 RC は台北の華朋扶輪社との姉妹クラブ締結式も行われました。泉ガバナーを始め多数の来賓者の中、元米山奨学生でもあった河村鶴見区長も謝辞を述べられました。大変格調高い記念例会にお招きに預かり厚く御礼申し上げます。

― ニコニコ箱報告 ―

朝槻・・・昨日、パストガバナーが羽田まで送って下さった。ラッキー！！伊丹に着いたら西尾会員とバッタリ、ロータリー楽しみ。

長谷・・・長い間例会のお休みのおわび。本日広瀬さま、卓話、雷のお話し楽しみです。

小林・・・行事に参加できなくてお詫びです。

松葉・・・留学生歓迎会、楽しい時間をありがとうございました。

松田・・・本日は、帝国ホテルで将棋の竜王戦が開催されてます。5F 吉野の間で大盤解説会やってます。どなたでも入場できます！

中野・・・寒くなって来ました。

岡田・・・連続欠席のお詫び。

大本・・・指名委員会出席の皆様ありがとうございました。臨時理事会出席の皆様ありがとうございました。竹森さん、マルユッカさん歓迎会ありがとうございました。広瀬様、卓話楽しみです。

佐々木・・朝槻さん、広島にてご紹介された方と会ってきました。お世話になりました。

曽我部・・ダメトラ完敗。紅白マンジュウの予算が不要になりましたので。

田中・・・長期欠席のお詫び。

辻村・・・本日、卓話よろしくお願いします。

＜合計　¥38,000 －　累計　¥900,000 －＞

― 先週の卓話 ―

「雷・雷対策について」

音羽電機工業㈱ 第二営業部
部長　広瀬　剛志氏
（辻村　和弘会員紹介）

音羽電機工業は、日本で唯一の雷対策専門メーカーとして今年で創業 68 年を迎えました。雷の鋭い光のように会社も社員もキラリと光る存在になって欲しいという思いから、「キラリと光れ」を社是としています。

避雷針は皆様も聞かれたことがあると思いますが、当社は避雷針でなく「避雷器」という製品を製造しています。雷が近くに落ちると、雷の電気は電源線、通信線など様々なところを伝って、建物の中に侵入する事があります。その時、電気機器を壊したり、誤作動を起こすなどの雷被害が発生します。そういった雷の被害から皆様の電気設備、

生活を守る製品が避雷器です。避雷器は皆様の身近なところに取り付けられています。配電柱に取り付けるタイプ、新幹線を含めた車両に取り付けるタイプ、また、あべのハルカス、東京スカイツリー、清水寺など各種設備に取り付けるタイプなど、様々な場所に避雷器を採用頂き、雷の被害から、人・環境・社会を守り続けています。

2008 年には、当社の技術の集大成として、兵庫県尼崎市に「雷テクノロジセンター」を開設しました。ここでは日々、雷の実験・研究を行っております。また、三菱重工業様の MRJ という小型旅客機に対する耐雷試験も行っています。

開設当時から一般の方のご見学の受け入れを行い、お子様から大人の方まで多数の方にご見学を頂き、2014 年 10 月末には見学者 20,000 名を達成致しました。同センター内には雷ミュージアムを併設し、雷写真・雷に関連するグッズ・書籍などを多数展示しています。雷を学べる場ということで、人工的に雷を起こすデモ実験などを見学頂き、少しでも雷に興味を持って頂けるよう工夫をしています。参加者の方は普段触れることのない雷の世界に喜んでくださり、当社としても嬉しく思います。

また、少しでも雷に興味を持ち、自然の脅威や偉大さを感じて頂きたいという思いから、雷写真コンテストを毎年開催させて頂いており、今年で 12 年目を迎えます。雷は音を聞くと怖いものですが、写真で見ると美しい写真です。受賞作品の中には、東京都庁への直撃雷の写真や、噴火による火山雷、成層圏で起こるスプライトなどの写真もあります。このようなコンテストを通じて、雷の世界をもっと身近に感じてもらえればと思っています。

今後、益々ライフラインの高度化が進み、雷対策の必要性が高まると想定されます。当社は、雷対策をシステムと考え、社会に安心・安全な免雷の時代をご提供できるよう、社員一丸となり、日々取り組んでいきたいと思います

― 青少年交換留学生歓迎会報告 ―

青少年奉仕委員長　竹森　敏麿

交換留学生「ピーロネン マルユッカ アッニーナさん」の歓迎会を、2014 年 10 月 29 日(水)18 時 30 分より天満橋駅近くの「ぼん繁(お好み焼き店)様」で開催致しました。

本来ならもう少し早く行いたかったのですが学校行事に試験と忙しくしているのと、私が少しのんびりしており、この時期になってしまいました。参加人数は、会員 18 名・会員家族 5 名とマルユッカの合計 24 名になりました。岡本会員の手配でお店を予約して頂き、サービスも良くして頂きました。ありがとうございます。

開始時間が近づくにつれて、皆様がお越しになる中「マルちゃんが来ない！」主役が来ないと～。大変焦りましたが、河野夫人に道案内して頂きながら、ピッタリ開始時刻に到着。早速、金高会長よりご挨拶を頂戴し料理が並び、飲み物が手元に届き、松浦会員の乾杯のご挨拶。

和気あいあいと歓迎会は進み、マルユッカさんとの懇親も深まりながら、お腹いっぱい食べて飲んでとても楽しい時間でした。時間はあっという間でお開きの時間になりました。学校のあとで、少々お疲れだったかも知れませんが、マルユッカさんも楽しんでくれたと思います。ご参加いただきました皆様、ご協力頂きました皆様、本当にありがとうございました。

― 指名委員会報告 ―

10 月 31 日帝国ホテルフィットネスクラブラウンジにて指名委員会を開催し、委員会(金高好伸、大本達也、中林邦友、竹森敏麿、大蔭政勝)は次年度理事・役員候補者として下記の 12 名を指名しました。

2015～2016 年度クラブ役員・理事

会長	中林　邦友
直前会長	金高　好伸
会長ノミニー	岡本　雄介
副会長	岡田　耕平
幹事	竹森　敏麿
会計	中田　圭子
SAA	長谷　裕代
理事	河野　裕一
〃	松浦　貞男
〃	曽我部律夫
〃	辻村　和弘
〃	山本依津子

役員・理事に自薦他薦、または異議がありましたら 12 月 1 日までに幹事まで申し出てくださいますようお願いいたします。また、2015～16 年度理事・役員は 12 月 5 日の年次総会において決まりますのでよろしくお願いいたします。

― クラブ財団委員長会議報告 ―

代理出席　竹森　敏麿

日時：2014 年 11 月 1 日(土)13：30～15：30
場所：薬業年金会館 6 階

定刻になり、補助金担当グループの大阪 RC 塩野様の司会進行で始まりました。はじめに泉ガバナー様より、ロータリー財団委員会の担っている事柄を説明頂き、大阪西南 RC の大谷 PG 顧問から「諦念(ていねん)」※道理を悟って迷わない心。という言葉の意味を引用されながら、良いこと＝寄付することは身体にも良い。と挨拶をされました。

その後、地区ロータリー財団委員長より「財団寄付と資金モデル」について、パワーポイントを使いながら財団の使命やグローバル補助金の大規模プロジェクト 6 重点分野(平和と紛争予防/紛争解決・母子の健康・基本的教育と識字率向上・経済と地域社会の発展・疾病予防と治療・水と衛星)や地区補助金の比較的小規模なプロジェクト(人道奉仕・奨学金・職業研修チーム・災害復興支援)・ロータリー平和フェローシップ・ポリオプラスなど活動内容を説明頂きながら、すべての原資は財団への寄付で成り立っている事(年次基金寄付・恒久基金寄付・使途指定寄付)を説明頂きました。

次に、ポリオプラス小委員会より「ポリオ撲滅まであと少し」と言う趣旨で、2018 年までにポリオ完全撲滅を目標に、現状報告を受け「ポリオの無い世界で子供たちの笑顔を」「あと少しで歴史を変えられます。」をスローガンにロータリアン一人一人の声が、ロータリアン一人一人の寄付が、ポリオを撲滅します。と説明を受けました。その後、パネルディスカッションという形で「財団寄付は…なぜ集めるの？」という題目で 4 名のパネラーで、解りやすく財団寄付について説明をいただきました。その中でも年次基金 1 人 150 ドル/年間をお願いしたい。寄付の形は、色々あるが各クラブの方針によるという事です。

― 広報委員会より ―

広報委員長　多田　秀觀

ポリオ月間での話題

日経新聞夕刊にあるコラム『あすへの話題』で『地域医療機能推進機構（JCHO）』の理事長　尾身茂　理事長執筆の記事(平成 26 年 10 月 2 日掲載)「ポリオ根絶とゼロの証明」

1990 年に始めた西太平洋地域でのポリオ根絶事業は確実な成果を上げていった。最後の難関としてベトナム南部とカンボジアの「メコンデルタ地域」が残った。小舟の上で生活をする人々には、川全体が“水洗トイレ”で恰好のポリオ発生源。しかも舟で川を移動するので、大半の子供がワクチン未接種。このため接種チームを上流、下流に配置して挟み撃ち。両岸にもチームを配置して一網打尽作戦を実施した。

さて、最近 STAP 細胞の有、無が関心を集めているが、ゼロの証明は極めて困難だ。ポリオ根絶の証明も同じだ。

“真のゼロ”か、“偽りのゼロ”か、見極めが重要だが、それには信頼できる報告システムの構築が不可欠。WHO は原因がポリオか他の病気かを問わず、急性麻痺(AFP)症例は全て報告してもらい、採取した便検体で最終診断をした。

ちなみに報告システムが機能している国では、人口 10 万人当たり毎年「最低」1 例以上の AFP 症例が報告されていた。従ってある国から報告される症例数が「最低基準」をクリアしていなければ、その国のシステムに問題があるわけだ。

95 年以降、この両国からの AFP 報告数も最低基準をクリア。そうした中、97 年 3 月 19 日、カンボジアの女児の発症が報告された。ポリオウイルスも存続に必死だ。「感染の鎖」を維持するため、常に犠牲者を見つけてゆく。これまでは遅くとも 3 週間以内に新たな感染者が発生していた。

ところが件の女児以降、1 か月後も報告ゼロ。さらに念を入れて 3 年待った。こうして 2000 年、毎年数十万人が罹患していた西太平洋地域での「ポリオゼロの証明」が完了した。 (禁無断転載)

― お祝いと表彰 ―

― 結婚記念日おめでとう ―

木村　節三（ 3 日）久保友志郎（11 日）
中林　邦友（18 日）佐々木　宏（19 日）
岡本　雄介（24 日）

― 事業所創立記念日おめでとう ―

松田　喜則	㈱帝国ホテル	（1890）
多田　秀觀	㈱多田寅洋紙店	（1910）
岡田　耕平	岡田紙業㈱	（1961）
中林　邦友	中林綜合登記事務所	（1963）

― 出席表彰おめでとう ―

・ホームクラブ 6 ヶ月皆出席表彰
大蔭　政勝

11 月 7 日のメニュー
和食
松花堂弁当
なだ万

紙面の都合上「直近の行事予定」は今回割愛させていただきました。必要な方は、幹事までお問合せ下さい。